

2020年冬
vol.95

みなみやま

特集

愛泉館なら、
どこでもリハビリ
できることを
増やします!

CROSS people

作業療法士×介護福祉士

医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち
「言語聴覚士」



おしゃれなテラス席もあり、パーティからセミナーまで、さまざまなシーンで利用できます。

LILY's CAFE(リリーズカフェ)
【住所】みよし市三好丘1-13-3
【TEL】0561-41-9700
【営業時間】
モーニング9:00~11:00(LO10:30)
ランチ11:00~15:00(LO14:00)
(日曜・月曜・祝日休み)
<http://www.lilys-english.com/cafe/>

英会話教室
「リリーズイングリッシュスクール」
【TEL】0561-35-5733

生徒さん
募集中!

「リリーズカフェ」のコンセプトは「you are what you eat」あなた
の体は食べたものでできている。地元農家さんから仕入れた安心
安全のたまごや抹茶、乳酸菌入り
の米など、こだわり食材を使って
手間暇かけて作ったメニューが
人気を呼んでいます。「リリーズ
カフェ」はオーナーの小川由鯉さん
がかつてサロンで楽しく英語を習つ
た経験から、アットホームに英語が
学べるカフェのような場所を持ち
たいという夢から生まれました。
2階には創立20周年を迎えた英
会話スクールが併設されています。
木のぬくもりあふれる空間は、ま
るで家中に招かれたような居心
地の良さ。今日もスクールの生徒
さんや地域の人でにぎわいます。

オーナーの小川由鯉(ゆり)さん(中央)と
厨房のスタッフさん、英会話講師のクリスさん

健康志向のヘルシーコンセプト
「リリーズカフェ」のコンセプトは
「you are what you eat」あなた
の体は食べたものでできている。
安全のたまごや抹茶、乳酸菌入り
の米など、こだわり食材を使って
手間暇かけて作ったメニューを使つて
人気を呼んでいます。「リリーズ
カフェ」はオーナーの小川由鯉さん
がかつてサロンで楽しく英語を習つ
た経験から、アットホームに英語が
学べるカフェのような場所を持ち
たいという夢から生まれました。
2階には創立20周年を迎えた英
会話スクールが併設されています。
木のぬくもりあふれる空間は、ま
るで家中に招かれたような居心
地の良さ。今日もスクールの生徒
さんや地域の人でにぎわいます。

賛助会員募集のお知らせ アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力を願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757
【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願ひいたします)

編集後記 編集後記の担当になってから3年が経ちました。こんなところまで目を通しててくれるのはどんな人だろう、何を書こうかな、編集裏話とか撮影のエピソードも伝えたいけど、スペースには190字しか入らない。季節感も出したいし、どうしよう。ネットで調べても「なんでもいい」という内容ばかり。困った。とりあえず3通りくらい書いて気分で選ぶことにしています。何はともあれ、手に取っていただいたこと、お読みいただいたことに感謝をこめて。(諸石)

●これまでお寄せいただいたご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【医療法人財団 愛泉会】

■愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター
■訪問看護ステーション えまい ■住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】AHI(アジア保健研修所)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま95号」 発行日:2020年1月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣
※無断で複写、複製、転載することを禁じます。

お問い合わせ

医療について 0561-73-9179(地域医療連携室) 介護について 0561-74-1300(日進市東部地域包括支援センター)

【医療・介護についての受付時間】月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30



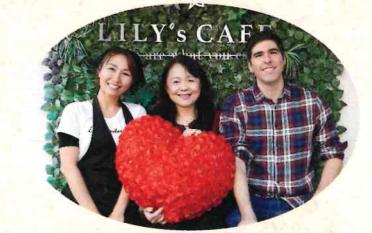
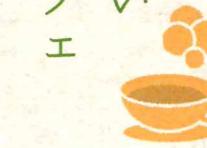
スマートフォンでも
ご覧いただけます

East
Favorite

名古屋から東へ
お気に入りをご紹介

愛知県みよし市
リリーズカフェ

安心食材で
体にうれしい
くつろぎカフェ



健康志向のヘルシーコンセプト

「リリーズカフェ」のコンセプトは
「you are what you eat」あなた
の体は食べたものでできている。

愛泉館なら、どこでもリハビリ できることを増やします！

日常生活とリハビリが 一体化した愛泉館

愛泉館での生活は、朝起きてから夜寝るまでの日常生活がリハビリだという考え方のもと、多職種のスタッフがさまざまなシーンでリハビリを提供しています。ご利用者は要支援1から要介護5まで幅広く、それぞれの状態に合つたりハビリを行っています。また、数日間のみのご利用の方、3ヶ月以内に退所される方から、長期入所される方まで、いろいろな過ごし方ができるのも愛泉館の特徴です。

愛泉館でのリハビリを通して、食事、トイレ、歩行、家事など日常生活においてできことが増えていけば、ご家族の負担が軽くなるだけでなく、ご利用者自身も前向きな気持ちになり、より充実した毎日を過ごすことができます。

2・3F:

- 4人部屋 (4人部屋)
- EV (EV)
- トイレ (トイレ)
- 4人部屋 (4人部屋)
- ラウンジ・食堂 (ラウンジ・食堂)
- 1人部屋 (1人部屋)
- 洗面台 (洗面台)
- 詰所ミニキッチン (詰所ミニキッチン)
- 作業療法士 (作業療法士) シンボル: 少しづつレベルをアップ!
- 言語聴覚士 (言語聴覚士) シンボル: 舌を伸ばしましよう
- 介護福祉士 (介護福祉士) シンボル: 簡単な家事から少しづつ 家事 (家事)
- 理学療法士 (理学療法士) シンボル: 足元をしっかりと見守ります 歩く (歩く)

1F:

- 機械浴 (機械浴)
- トイレ (トイレ)
- EV (EV)
- 食堂 (食堂)
- リハビリスペース (リハビリスペース)
- 相談 (相談)
- 喫茶スペース (喫茶スペース)
- デイケアルーム (デイケアルーム)
- 入口 (入口)
- 理学療法士 (理学療法士) シンボル: 家の中などイメージしてトレーニング のぼる、おりる (のぼる、おりる)
- 介護福祉士 (介護福祉士) シンボル: ご自宅訪問行ってまへす
- 看板: 自主トレーチェック表

食べる・体力アップ

管理栄養士 (管理栄養士) シンボル: 食べやすくすることが大切

栄養管理

栄養バランスの良いメニューを食べやすい形状に。栄養をきちんと摂って体力をつけることでリハビリをサポートします。

食べる・話す

言語聴覚士 (言語聴覚士) シンボル: 舌を伸ばしましよう

えんげトレーニング

ご利用者の舌の動きや可動範囲を見てお口の体操をすることで、飲み込む力や発話できる機能を取り戻します。

コミュニケーション

作業療法士 (作業療法士) シンボル: 少しづつレベルをアップ!

認知症リハビリ

達成感を感じられるよう、ご利用者お一人おひとりに合わせた問題を用意。頭や手を動かすことことで、脳を活性化します。

体力アップ

介護士 (介護士) シンボル: 自主トレーチェック表で変化を確認!

自主トレーニング

手足の曲げ伸ばし、肩の上げ下げ、歩行など、体調に合わせて自分でトレーニング。そっと介護士が見守ります。

のぼる、おりる

理学療法士 (理学療法士) シンボル: 大きな窓で南向きだから、明るいよ 昇降トレーニング

自宅で安全に昇り降りできるようにする目的です。麻痺のある方は動かしやすい足から踏み出して昇降します。

「できましたね！」と一緒に喜ぶとか、気持ちの共有を大切にしたい。



作業療法士(OT) 尾崎 沙耶佳

介護福祉士 市川 信子

尾崎 病院と愛泉館のリハビリの大きな違いは、愛泉館には市川さんのような介護福祉士の方がいることだと思います。24時間、ご利用者さんをケアして見守ってくださっていますから。

市川 每朝のミニカンファレンスでは「Aさんがひとりで車椅子に座れるようになりました」「昨夜から、Bさんが発熱しているので、こまめに水分補給をお願いします」と、細かい出来事もお伝えして、医師や看護師も含めてみなさんと情報共有するように心がけています。

尾崎 愛泉館のリハビリは、リハビリ専門職が個別に集中して行う機能訓練や認知機能訓練などの「個別リハビリ」、介護職員たちが日常生活のなかで行う「生活リハビリ」、そしてご利用者が自分が自分で行う「自主トレーニング」を「三大リハビリ」としています。リハビリ計画を立てるうえで、日頃のご利用者さんの様子を把握する



なつたら「できましたね！」と一緒に喜ぶとか。実際に私、うれしいです。逆に、リハビリ効果が出なくてなかなか自宅に帰れないと寂しがっているときは「寂しいですね、悲しいですね」と一緒に落ち込むこともあります。

市川 それはここのが利用者さんの気持ちを汲み取るのが本当に上手な方だといつも思っています。

尾崎 市川さんはご利用者さんの気持ちを汲み取るのが本当に上手な方だといつも思っています。

なつたら「できましたね！」と一緒に喜ぶとか。実際に私、うれしいです。逆に、リハビリ効果が出なくてなかなか自宅に帰れないと寂しがっているときは「寂しいですね、悲しいですね」と一緒に落ち込むこともあります。

市川 それはここのが利用者さんの気持ちを汲み取るのが本当に上手な方だといつも思っています。

尾崎 そうだったんですね。

市川 愛泉館で働くようになつてからも、太田院長や亡くなつた川原先生がご利用者さんと気持ちを共有される姿からいろいろなことを学びました。今度は私たちがそれを伝えています。

市川 ご利用者の目標や気持ちを共有することって大事だと思います。介助なしでトイレで立てるようになります。

目標や気持ちの共有が大切



尾崎 私は作業療法士なので、入所前、ご家族から情報収集して知ったご利用者さんの好きなこと、得意なことを、できるだけリハビリに取り入れるようにしています。その他にも主婦の方なら、お掃除をする、おために外を歩いてみたり。

市川 尾崎さんを見ていると、ご利用者さんに合わせていろいろ工夫されていますよね。認知症の方に対しては、あえて作業を短時間に区切って数回行ったり、季節を感じてもらうために外を歩いてみたり。

尾崎 私は作業療法士なので、入所前、ご家族から情報収集して知ったご利用者さんの好きなこと、得意なことを、できるだけリハビリに取り入れるようにしています。その他にも主婦の方なら、お掃除をする、おために外を歩いてみたり。

市川 ご利用者の目標や気持ちを共有することって大事だと思います。介助なしでトイレで立てるようになります。

目標や気持ちの共有が大切

Profile

作業療法士(OT) 尾崎 沙耶佳



モノをつくるのが好きで、作業療法士の資格を取得。2014年愛泉館に入職。2017年出産。育児休暇のため2年間のブランクを経て、2019年4月に職場復帰。仕事と育児の両立で奮闘中。

介護福祉士 市川 信子



母が愛知国際病院で入院した際、院長や看護師が家族の不安にじっくり耳を傾けてくれる対応に心を動かされ、「ここで働く」と決意。介護福祉士の資格を取得し、2013年愛泉館に入職。

ことは重要ですから、介護職員からの情報はとても役立ちます。「次のリハビリはトイレ動作を取り入れてみよう」とご利用者さんの今の状態に合わせた計画を立てられます。

市川 ご利用者さんも変化していくので、その様子を都度お伝えすると「それなら明日から離床時間(起きている時間)を増やしてください」「午前中は歩行器を使わずにトイレに行つてみましょうか」と私たちに具体的な指示をいただけるので、日常的な介護のなかにリハビリを落とし込むことができます。逆に、ご利用者さんが自分でできることは、退所後の生活を考えてお手伝いしないのも、ここでは大事なりハビリです。

尾崎 状況に合わせてリハビリを強化していくことが、ご利用者さんでの生きることを増やしていくことにもつながります。トイレ介助を少なくしましょう、洗面台で歯磨きや洗顔を1人でできるようにしましょう、とい

愛泉館は「三大リハビリ」で復帰を支援します



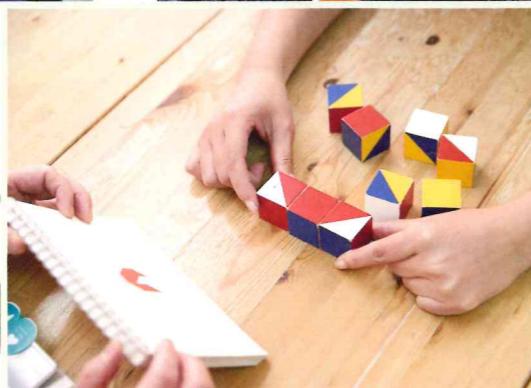
嚥下造影検査で誤嚥をしていないか確認します。



安全に飲み込める食べ物から開始します。



お子さんと一緒に楽しめる関係づくりを大切にしています。



認知機能の評価には「コース立方体テスト」などを用います。

口やのどの働きを強化する運動を用意して食べる練習を段階的に進めています。また、嚥下機能に見合った嚥下訓練食を用いて食べる練習を段階的に進めています。それぞの症状や状態を評価し、嚥下機能がスムーズにいかない患者さんにはリハビリを行っています。それ「以前のように食事が摂れない」など、摂食や嚥下の機能がスマートにいかない患者さんには嚥下訓練を行っています。

入院リハビリでは、「よくむれ、発音の誤り、吃音などを気になされるお子さんや脳疾患による失語症の患者さんなどが外来では、言葉や発達の遅れ、言葉の誤り、吃音などを気にならない相手の思いを汲み取ることも大切です。患者さんやご家族に信頼してもらえるアプローチを心がけています。



退院後も自宅で落ち着いて過ごせるよう、ご家族に食事のポイントを指導します。

職場のこばれ話

早口ことば、大好きです♪

患者さんと一緒に口の体操や发声のトレーニングをするうちに、早口言葉が上達！

赤バジヤマ
黄バジヤマ
茶バジヤマ



左から和田真一さん、主任の味岡昌枝さん、後藤真美さん。

医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち

職場のこと 仕事のこと

言語聴覚士（リハビリテーション科）

話せない、飲み込めない 言葉にできない思いに寄り添う

言語聴覚士とは、言葉やコミュニケーション、飲み込み（嚥下）の機能に問題を持つ患者さんを支援する仕事です。

外来では、言葉や発達の遅れ、発音の誤り、吃音などを気になされるお子さんや脳疾患による失語症の患者さんなどが来院され、半年間を目安に評価や訓練を行っています。

入院リハビリでは、「よくむれ、発音の誤り、吃音などを気にならない相手の思いを汲み取ることも大切です。患者さんやご家族に信頼してもらえるアプローチを心がけています。

言語聴覚士は病気への理解や、知見に基づく確かな技術が求められる一方、言葉で伝えられることも大切です。患者さんやご家族に信頼してもらえるアプローチを心がけています。



主任
味岡 昌枝

1999年言語聴覚士の資格を取得。急性期病院などの勤務を経て2005年入職。公認心理師、NST専門療法士などの資格を取得。

隣の客はよく柿食う客だ…



できること、増やします！



介護福祉士
戸松 奈津子

介護福祉士の役割

自宅訪問 (入所後・退所前)

入所後はケア内容を決めるため、退所前は愛泉館でのリハビリが自宅で安全に行えるか確認するために訪問します。



ミニカンファレンス

日々変化するご利用者さんの身体状況に合わせて「Aさんは車椅子を卒業し歩行器にしましょう」など多職種で情報を共有します。



趣味・活動

ボランティアさんと一緒に行います。趣味や楽しみごとを再開できると心が前向きになります。



体調管理

医師、看護師、管理栄養士と一緒に行います。食事摂取量や水分補給、皮膚状態を観察し、体調を整えてリハビリのベースづくりをします。



食事ケア

食事介助が必要になった方に対し、自助具の活用や生活リハビリなどで食べる意欲を取り戻し、自分で食べられるようにします。

トイレ介助、ベッド介助

ベッドの向きやトイレの手すりなど、できるだけ自宅環境に合わせたリハビリを行います。



リハビリで取り戻した能力を活かせるように支援し、自立へ導きます。

愛泉館のご利用者の多くは、週6日の「短期集中リハビリテーション」を受けています。私たち介護スタッフの役割は、リハビリ専門職による各種訓練などで高められたご利用者の身体機能や生活能力を、24時間の生活の中で活かせるよう、過不足なく日常生活の支援を行い、できるかぎり自立に導くことだと思っています。そのため、病気療養

介護長
木村 恵介

や加齢で体力や免疫力が低下している場合は、栄養や水分補給をしっかり行い、バイタルサインの観察、適度な休息などで病気の再発を防ぎ、基礎的な体調管理を行うことから始めます。ご利用者がどんどん元気になり、自宅復帰できることが私たちの喜びです。

